

令和8年度 アドバンス助産師育成研修 プログラム (3日間)

妊産婦が安全・安心に出産・育児ができるための持続可能な周産期医療体制を構築するため、地域における助産師のさらなる役割拡大と、院内助産所・助産師外来の開設に係る、助産実践能力の向上を図る。

★クロックミップ必須研修 前後テストあり

\*クロックミップ選択研修

| 開催日時  | テーマ   | ねらい  | 講師   | 方法                                    |
|---|---|--|--|---------------------------------------|
| 5月31日<br>(日)<br>9:30~<br>12:30<br><br>(3時間) | 1.<br>「助産師と助産政策」<br>*                               | 【ねらい】<br>助産政策の必要性とその実際について理解する。<br>【目標】<br>・看護制度と構造を理解する<br>・政策と政策過程を理解する<br>・診療報酬の構造と公的文書について理解する。<br>・看護制度の変遷を理解する。<br>・政策プロセスに産後ケア事業事例から理解する。<br>・政策実現のための準備について知る  | 日本看護協会 常任理事<br>井本 寛子 氏                                     | 対面<br>オン<br>ライ<br>ン                   |
|   | ☆助産師の立場での「プレコンセプションケア」                              | ・プレコンセプションケアについて理解する。<br>・プレコンセプションケアにおける助産師の役割を理解する。  |  |                                       |
| 7月3日<br>(金)<br>13:30~<br>16:30<br>3時間       | 2.<br>「妊娠と糖尿病」<br>★                                 | 【ねらい】 糖代謝異常妊娠の妊娠中の管理についての知識を深め看護実践に役立てる。<br>【目標】<br>・妊娠糖尿病 (GDM)、妊娠中の明らかな糖尿病、並びに糖尿病 (DM) 合併妊婦の妊娠期・分娩期の管理と支援を理解できる。<br>・妊娠糖尿病 (GDM) 既往妊婦の産後のフォローアップについて理解できる。<br>・妊娠糖尿病 (GDM) 既往妊婦から出生した新生児のケアについて理解できる。<br>・事例を通じた具体的支援 (血糖管理・食事療法・生活指導) の方法を理解できる。  | 栃木県 助産師会会長<br>成田 伸 氏                                       | オン<br>ライ<br>ン                         |
| 9月13日<br>(日)<br>10:00~<br>13:00<br>(3時間)    | 3.<br>「後輩助産師を育てる教育力：成人学習・正統的周辺参加・OJTを活かした実践的育成支援」 ★ | 【ねらい】<br>・助産師が後輩育成の中心的役割を担うために、成人学習理論・正統的周辺参加・OJTの基本概念を理解し、現場で活用できる教育的視点を身につける。<br>・新人助産師が段階的に成長できるよう、実践に基づいた育成方法を設計できる。<br>・後輩助産師の成長を促すための具体的なフィードバック技法や教育技法、コミュニケーションスキルを実践的に学び、日常業務で活かせる力を養う。<br>【目標】<br>1. 専門職としての学習の意義・必要性を理解する。<br>2. 成人教育・成人学習における支援者の役割を理解する。<br>3. 正統的周辺参加論をふまえた臨床における看護職育成のあり方を理解する。<br>4. OJT(On the Job Training)における支援者の役割を理解する。<br>5. 後輩助産師の成長を促すための具体的なフィードバック法や教育技法を活用できる。<br>6. 研修後、所属部署で後輩指導・助産師教育の中心的役割を担い、OJT計画や勉強会企画を立案し、実践につなげることができる。 | 愛媛大学医学部附属病院<br>総合臨床研修センター<br><br>助教 内藤 知佐子氏<br><br>演習指導者3名 | 対面<br>オン<br>ライ<br>ン<br>(演<br>習含<br>む) |
| 10月25日<br>(日)<br>10:30~<br>12:00<br>(1.5時間) | 4.<br>「妊娠と薬」<br>(臨床薬理) ★                            | 【ねらい】 産婦人科診療ガイドライン産科編をふまえ、妊娠・分娩・産褥期と薬剤についての理解を深める。<br>【目標】<br>・妊娠中の薬剤投与の注意点 (薬剤の種類と胎盤透過性など) を理解する<br>・胎児への影響と有益性・必要性の検討 (時期、薬剤の種類) について知る<br>・陣痛誘発と陣痛促進時の子宮収縮薬投与の基礎知識について理解する<br>・子宮収縮薬と医療事故の事例を知る<br>授乳と薬剤<br>・授乳中の薬剤投与の特徴について理解する<br>・児への影響<br>・母乳への影響<br>・児への影響と有益性・必要性の検討  | 高知医療センター<br>産科長 渡邊 理史氏                                     | 対面<br>オン<br>ライ<br>ン                   |